

マルカンビル大食堂の運営 上町エリアにおける事業開発

花巻市の上町商店街にあった「マルカン百貨店」が2016年6月に閉店することの発表を受け、花巻駅近くで「リノベーションまちづくり」を営んでいる株式会社花巻家守舎が、マルカンビル6階の食堂の経営の存続を検討した。そこで、「マルカン大食堂を可能な限りそのまま残す」と「上町花巻の産業が育つ町にする」のビジョンの下、新たに同社を設立した。翌年2月には、「マルカンビル大食堂」として復活させ、行政と(株)花巻家守舎と連携し花巻の「リノベーションまちづくり」を推進している。

- | | | | |
|----------|---|--------|-------|
| ● 所在地 | 岩手県花巻市上町6番2号マルカンビル | ● 設立 | 2016年 |
| ● 電話/FAX | 019-829-5588/019-829-5587 | ● 資本金 | 100万円 |
| ● URL | https://m.facebook.com/marukan-shokudo/ | ● 従業員数 | 55人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 小友 康広 | | |



担い手確保

雇用のベストミックス(ベテラン社員と新マネージャー)

食堂経営を可能にしたのは食堂スタッフと経営者を結び、会社のビジョンを推進する責任者として飲食店経営の経験を持つマネージャーの採用であった。また、百貨店の食堂で働いていた従業員を継続して雇用できたことも大きな要因になった。再雇用にあたっては1人ひとりと面談し、それぞれの悩みを聞き待遇の改善を図った。百貨店時代と変わらぬ味、変わらぬ雰囲気、変わらぬ対応ができているのは、ベテラン社員が新会社のビジョンに共感して、共に「大食堂を残そう」という思いが一致しているからである。



名物10段ソフトと子供たちの笑顔

「リノベーションまちづくり」への挑戦！

同社は、大食堂の運営のほか、空き店舗所有者と交渉して物件を確保し、新規事業者とマッチングを行い、出店をサポートする「リノベーションまちづくり」に取組んでいる。その一環として、花巻市主催の「リノベーションスクール@花巻」の開催を全面的にバックアップしている。この活動を通じて、新規事業を行う人をサポートし、新たなまちづくり人材の育成を行っている。その結果、2018年度はマルカンビル周辺でさまざまな業態の4事業が立ち上がり、更に2019年度に向けて3物件で事業化を検討中である。



スクール参加者とマルカンビルの記念写真

より良い事業への継続的なバージョンアップ！

本大食堂の復活を、偶然だとか奇跡といわれる場合があるが、この復活は、緻密なコストの割り出しや過去の売上げからの収支計算の検討による、事業計画に基づいているのである。それにより、地元の金融機関などから全面的な協力と支援を得て、資金調達等を行うことができたのである。今後の事業計画は、更に食堂の収益力の増加と集客力を活かし、マルカンビルの空きフロアの活用を検討している。そのための方針は、食堂の顧客と親和性の高い事業の展開であると考えている。



老若男女が自然と集う大食堂の日常

サービス